

# 一般質問

## 市政全般にわたり18人の議員が質問 (要旨を掲載)

### 今後の施政方針について 市長に問う



木村 正博 議員《公明党》

民間企業のトップや座間市商工会長を務められた経験から、公務員に不足していたコスト意識の定着化や無駄の削減に腐心し、厳しい財政状況の中で行財政改革等に積極的に取り組む、また、キャンプ座間返還跡地の利用計画の策定にも強いリーダーシップを発揮し、総合病院の誘致、新消防庁舎の建設に向け大きく前進をさせて来られました。市長が不転の決意で取り組むと表明されたキャンプ座間返還跡地への総合病院誘致や、小児医療費助成、国保会計の健全化、さらに、市長みずからの手で策定した第四次総合計画の着実な推進など、大きな課題が山積しています。解決に向けだれかに託すのか、みずから取り組むのか、9月の市長選挙まで残すところわずかとなりましたので、態度表明されますよう望みます。

**市長** 第四次総合計画推進とキャンプ座間返還跡地の有効活用の具現化は、みずからが口火を切った事実、私には座間の未来へ向けての重要なテーマを裏切るものになし遂げていく重い責務がございます。私みずからが先頭に立ち、誠心誠意、粉骨砕身、不転の姿勢で、市民皆様とともに歩ませていただきます。その決意を改めて表明させていただきます。

### 防災・減災について 老朽化する施設の改修を急げ

上沢 本尚 議員《公明党》

老朽化する社会資本整備の改修等を急がなければならぬとの観点から、公共施設白書策定事業について伺います。白書では、公共施設の資産価値、利用状況や維持管理経費のフルコストを把握し、課題整理に4年間計画で取り組むとされていますが、本市における対象施設の数、総面積、総資産額等をお伺いします。そして、大規模改修を含む建てかえ等の計画は何年間を考えているのか、また、人口推計や財政負担を考えると小・中学校の統廃合や学校と福祉施設の複合化による合理化など複数機能を備えた施設整備を考える必要があると思えますが、その所見を伺います。

さらに、PFI法改正で可能となった所有権を保持しながら施設の運営権を民間業者に付与し事業を実施してもらうコンセッション方式についてご見解を伺います。

**特定政策推進室長** 施設数は、76施設で145棟、総面積は、24万747平方メートルで、総資産額は420億6933万2千円です。大規模改修を含む建てかえ等の計画年数や施設の複合化、合理化については活用指針策定時に検討します。また、コンセッション方式については研究してまいりたいと思います。

### 関東大震災の教訓を、 防災対策に



中澤 邦雄 議員《日本共産党》

東日本大震災が地震列島日本のさまざまな地震に影響を及ぼし、首都直下型地震や関東大震災クラスの巨大地震も想定され、大地震の被害想定を見直す動きが相次いでいます。関東大震災などの歴史の教訓を生かした防災対策にしていくことが、減災につながると東日本大震災で証明されました。ことし3月に各家庭に配布された防災マップでは四ツ谷、新田宿地区は極めて液状化が低い地域とされています。関東大震災ではむしろ逆で四ツ谷、新田宿、中河原地区で大変な液状化が起こりました。本市が関東大震災の教訓を後世に生かすため昭和59年に発行した「座間の語り伝え」によると、四ツ谷3人、新田宿6人、中河原4人の聞き取り調査で、全員が異口同音に地割れが起き泥水が噴き上げる液状化で家屋が倒壊し傾いたことを証言しています。防災マップの訂正とともに、相模川の洪水対策を含め過去の歴史に学んだ生きた防災対策を求めます。

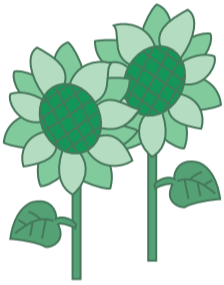
**市長** 防災マップの液状化危険地域の記述は、県の調査、検討結果に基づくものですが、事態に即していないのでは、という印象があり、課題として認識しています。今後県へ所感を伝え、地域感覚に即した対応をしていくつもりです。

### 子育て新システムを 導入するな



柏木 育子 議員《日本共産党》

現行保育制度では、児童福祉法第24条第1項本文に、「市町村は保育をしなければならぬ」と規定しています。また市町村は「保育の質を確保する義務」を負います。これらに義務に対して保護者は、市町村に保育の量や質の確保を求めようとする権利が保障されています。だからこそ、市町村は待機児解消に力を注いでいるのです。



一方新システムでは、自治体は、必要に応じて入所を決めるのではなく、保育の必要性を認める認定証を発行し、保育園を紹介するだけとなるため、保護者が自ら保育園を探すこととなります。更に企業の参入が可能となり、儲けを出すため保育士の低賃金化や非正規化でコスト削減をし、経営状況によっては撤退も自由です。新システム導入について予算不足と言う声もある。

**市長** 国の政策として進められるのであれば、考えていく課題だと考えます。人員については平成25年度には1名採用予定です。

### 空母艦載機騒音被害から 基地対策を問う



安海 のぞみ 議員《神奈川ネット》

過日行われた米空母艦載機の発着訓練のすさまじさに苦情が殺到、私もある機関紙に「人口密集地の飛行訓練に強く抗議」との文章を寄せましたが、紙面となり目前に置かれると、書いた私自身、強い違和感を抱きました。私たちの求めるべきことは飛行訓練のあり方ではなく基地のあり方そのもの。原子炉を2つも有している空母の配備、事故の脅威は横須賀に原発があるのと変わらないことへの抗議と自覚ではないでしょうか。沖縄への極端な基地依存、原発立地県への電力依存、安全保障も経済成長も特定地域の人々の犠牲の上に成り立っています。

**市長** 基地自体の存在は日米の同盟関係、我が国を取り巻く安全保障全体の枠組みの中で、必要とされるものについてはどこか受忍しなければならぬことあるのかと思いません。ただ、今回の厚木基地の騒音については、受忍できる限界を超えており、しっかりと国として対応していただきたいと強く要請してまいります。

### 私も「ヤツ」として、南林間入口交差点 熱中症対策に『びまみず』を



三枝 浩樹 議員

小松原から南林間入口交差点を通り、ひばりが丘を経由、国道246号線を渡り東原へ向かう道路、市道10号線について、南林間入口交差点から交番(派出所)の前までの約300mの間は歩道もありません。加えて車両の交通量も多く、危険です。多くの生徒・児童のみなさん(相模向陽館・旭小学校・東中学校・民連合)

## 本会議の概要

- ▽ 5月31日 開会、会期決定、会議録署名議員指名、議案上程、提案説明、質疑、委員会付託省略、討論、採決、議案上程、提案説明、総括質疑、委員会付託、陳情上程、委員会付託、報告上程、質疑
- ▽ 6月7日 一般質問
- ▽ 6月8日 一般質問
- ▽ 6月11日 一般質問、議案上程、提案説明、質疑、委員会付託
- ▽ 6月25日 議案上程、委員会審査報告、質疑、討論、採決、議員提出議案及び陳情上程、委員会審査報告、質疑、討論、採決、継続審査案件上程、基地対策特別委員会中間報告、質疑、議案改革特別委員会中間報告、質疑、議案上程、提案説明、質疑、委員会付託
- △ 討論、採決、議員提出議案上程、(提案説明、質疑、委員会付託、討論) 省略、採決、閉会
- なお、総括質疑、質疑、討論は、次の議員が行いました。
- 議案第38号、第41号に対する質疑(5月31日)
- 池田徳晴(市政クラブ)、牧嶋とよ子(神奈川ネット)、中澤邦雄(日本共産党)
- 総括質疑(5月31日)
- 池田徳晴(市政クラブ)、守谷浩一(日本共産党)、牧嶋とよ子(神奈川ネット)、木村正博(公明党)、小川成男(政和会)
- 報告に対する質疑(5月31日)
- 牧嶋とよ子(神奈川ネット)、中澤邦雄(日本共産党)
- 討論(6月25日)
- 竹市信司(市民連合)、沖本浩二(市政クラブ)、守谷浩一(日本共産党)、伊藤正(政和会)、牧嶋とよ子(神奈川ネット)、議員提出議案第3号に対する討論(6月25日)
- 中澤邦雄(日本共産党)、沖本浩二(市政クラブ)、竹市信司(市民連合)